

## 『中国文化』総目次 (六〇号～六九号)

雑誌名	中国文化 : 研究と教育
巻	70
ページ	115-120
発行年	2012-06-23
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2241/00150762">http://hdl.handle.net/2241/00150762</a>

『中国文化』 総目次 (六〇号〜六九号)

第六十号 (二〇〇二年六月)

〔巻頭言〕 学会創立七十周年を記念して

帛書『謬和』第二十四章にみえる説話と  
高橋 均 一

易の引用について……………渡邊 大 二

—『呂氏春秋』『淮南子』『說苑』との比較を中心に—

『宋書』における

謝靈運「臨終詩」の解釈について……………稀代麻也子 一三

「妙本」の位置—唐玄宗『老子注』の一特質—  
……………堀池 信夫 二五

杜甫の「高枕」について……………松本 肇 三四

元結詩小論—「演興」四首と「系樂府」十二首について—  
……………加藤 敏 四四

杜牧における「甘露の変」……………高橋 未来 五六

—李甘・李中敏との交流を通して—

静嘉堂文庫所蔵鈔本『御覽詩』について

……………大橋 賢一 六九

天台山をめぐる古文献逸文輯考……………薄井 俊二 八一

浄明道の内丹思想—「正心修身之学」を中心に—  
……………石田 志穂 九三

倪元璐と黄道周—応酬詩と墓誌銘を中心に—  
……………河内 利治 一〇五

呉昌碩の石鼓文臨書について……………松村 茂樹 一六

戦後日中思想交流史の中の『狂人日記』  
……………「中国に学ぶ」から「共通の話題の探求」へ

……………伊藤 虎丸 一二四

「樸」字的音……………劉 勳寧 一三七

鮑照詩文用韻考……………向嶋 成美 60

張愛玲の映画シナリオ—『不了情』と『太太萬歲』  
……………白井 啓介 46

歌劇『白毛女』の版本についての一考察  
……………—1965年改作脚本を中心に—

……………関 浩志 35

嘉靖本以前の『三国志演義』……………小松 建男 24

和刻本『説文解字五音韻譜』の  
……………依拠した版本について……………高橋由利子

鎌倉時代写「論語集解」断簡について(上) 11

「研究ノート」……………高橋 均 1

唐代詩人と書……………田中 有一 一四四

○中国化学会(旧大塚漢文学会)略史……………一五〇

○「中国文化」総目次五〇号〜五九号……………一五六

第六一号(二〇〇三年六月)

「五十而知天命」小考……………菅本 大二 一

褚少孫の『史記』補続……………内山 直樹 一五

鄭玄『詩譜』『幽譜』の「幽国変風」

—「七月」箋研究序説—

……………間嶋 潤一 二八

李白と陶淵明—李白における孤独感と淵明像を中心に—

……………西村 諭 四三

李商隱の「無題」詩連作について…加固理一郎 五五

『全唐詩』中の「臨刑・臨化」詩…後藤 秋正 六七

徐渭の古文辞批判をめぐる…鷺野 正明 七九

「研究ノート」

黄道周注断『広名将伝』考……………河内 利治 九一

『中原音韻』『作詞十法』の

「定格・四十首」について……………舟部 淑子 9

給の解釈に関する若干の考察…山田 忠司 1

第六二号(二〇〇四年六月)

『史記』『漢書』の「書」「志」について

—名称をめぐる瑣考—

……………内山 直樹 一

陶淵明の「勸農」詩……………上田 武 一三

「桃花源記」の具現化現象……………小林 佳迪 二五

—桃源県における文化景観をめぐる

中井履軒撰『漢書雕題』について…寺門日出男 三八

「研究ノート」

「詠宝剑詩」の作者をめぐる問題…樋口 泰裕 四八

—遼氏『先秦漢魏晉南北朝詩』補正一則

『中国化学会平成一五年度シンポジウム

「桃花源記」を読み直す」発表要旨……………五四

向嶋成美 坂口三樹 門脇廣文 小出貫映

「火車(huochē)」考……………阿川 修三 31

—中国における近代訳語の形成についての一考察

『洪武正韻』依據方音は温州音である

……………望月 眞澄

元代散曲と險韻としての「車遮韻」……………11

..... 舟部 淑子 1

第六三号 (二〇〇五年六月)

周公と王莽―王莽期における周公居攝踐阼の解釈

..... 間嶋 潤一 一

韓愈「鰐魚文」の位置..... 谷口 匡 一五

中学校国語教科書における

漢文教材としての「春望」について..... 大橋 賢一 二九

「中国化学会平成一六年度シンポジウム

「漢字における日本近代への経路」発表要旨」：四〇

反語文の「還不是」の意味的特徴について

..... 曹 泰和 59

文末助詞の「啊」と「吧」..... 安藤 好恵 49

現代中国語における動量詞「度」について

―統語、意味、語用、三つの側面からの考察..... 浅野 雅樹 37

90年代中国映画の試み..... 館 けさみ 26

―『流浪北京―最後の夢想者』と『媽媽』の比較を手がかり

にして

民国元年における新劇同志会の演劇活動

鎌倉時代写「論語集解」断簡について(下)

..... 高橋 均 1

第六四号 (二〇〇六年六月)

陶淵明における

「夕暮れの山」の表現についての一試論

..... 増野 弘幸 一

庾信「擬連珠」の表現と論理..... 安藤 信廣 一一

杜甫における「遊び」―「狂」の用例を中心に..... 山島めぐみ 二五

元結「大唐中興頌」の解釈をめぐって..... 加藤 敏 三八

「李徴」の変容―「人虎伝」本文の生成に関する覚書―..... 坂口 三樹 五〇

顧炎武「五方之音説」とその批判..... 渡邊 大 六四

―毛奇齡・錢大昕の所説を中心に―

「中国化学会平成一七年度シンポジウム」東アジア

(日本・中国・台湾・韓国)の漢文(古典)教材の

比較―発表要旨..... 七九

青木五郎 渡辺雅之 木村淳 大橋賢一 辛賢

..... 七九

鈴木 直子 14

《着》字句的否定情况考察……………田 禾 13  
 漱石「函山雜咏」試考—どちらに帰るか—  
 ……………高橋 朱子 1

第六六号 (二〇〇八年六月)

王肅の祭天思想……………渡邊 義浩 一  
 寓意と史実—阮籍の四言「詠懷詩」をめぐって—  
 ……………沼口 勝 一六

言尽意・言不尽意論考……………和久 希 二八  
 「飲酒」二十首并序」の陶淵明……………稀代麻也子 四一

杜詩「因人」考……………後藤 秋正 五五  
 杜牧撰『注孫子』について……………高橋 未来 六七

—兵学と儒学とをむすぶもの—  
 李商隱の不遇の原因に関する言説について  
 ……………加固理一郎 八一

歴代の文献より見た高閑の草書について  
 ……………下田 章平 九三

《来不及》句型と《不及来》句型……………伊原 大策 14  
 —《来不及》型可能補語句型の起源に関する一要素—  
 華容道の関羽と張遼……………小松 建男 1

〔研究ノート〕二十卷本『搜神記』の  
 成書に関する一考察……………大橋 賢一 一〇六  
 〔中国文化学会平成一九年度大会講演会要旨〕

第六五号 (二〇〇七年六月)

注疏における五行神と社稷神について  
 —孔穎達と賈公彦の解釈を中心にして—  
 ……………松崎 哲之 一

元結の詩文における浯溪と「大唐中興頌」  
 ……………加藤 敏 一五

唐代古文家の「伝」について……………谷口 匡 二八  
 李商隱の「錦瑟」詩について……………加固理一郎 四二

—追憶の像による楽曲の言語化—  
 『鞏鼎志』と杜甫墓……………後藤 秋正 五三

〔李徴〕の転生……………坂口 三樹 六六  
 —「人虎伝」との比較から見た「山月記」の近代性—  
 〔中国文化学会平成一八年度講演会要旨〕

江戸における詩人波響……………高木 重俊 七九  
 上海電影事業興隆考……………白井 啓介 27

—一九二〇年代上海娯楽文化の中の映画館—  
 〔甌詠略〕の筆者について……………村上 之伸 15

西洋古典の初期刊本をめぐって……細井 敦子 27

第六七号 (二〇〇九年六月)

漢代五言詩史上に占める蘇李詩の位置

……柳川 順子 一

『山公啓事』にみえる貴族の自律性

……渡邊 義浩 一四

寓意と史実(続稿)

……沼口 勝 二九

——阮籍の四言「詠懷詩」をめぐって——

李白「黃鶴樓送孟浩然之広陵」における「煙花」の解釈……大橋 賢一 四四

「東西南北の人」について……後藤 秋正 五八

——杜甫と高適の酬和詩を中心に——

懷素草書の二面性——筆写された場所をもとに——

……下田 章平 七二

李商隱の政治詩……加固理一郎 八五

——「行次西郊作一百韻」を中心にして——

北京自主独立教会とロンドン会……高橋由利子 14

——1900年代に老舎の関わった北京の教会学校をめぐって——

中国の語り物と「わけ知り立て」について

……高橋 稔 1

〔研究ノート〕中国語の品詞の考え方

……相原 茂 46

〔研究ノート〕清華学校における学生演劇

——洪深の『貧民慘劇』を中心に——

……鈴木 直子 39

〔研究ノート〕恋愛用語「失恋」の成立と

中国語への伝播についての一考察

……清地ゆき子 31

〔中国化学会平成二〇年度大会講演会要旨〕

金沢八景の歴史と変遷……永井 晋 53

第六八号 (二〇一〇年六月)

曹植の「説」について……谷口 匡 一

杜甫「同谷歌」の「狙公」について

……後藤 秋正 一五

朱熹『家礼』における祠堂の機能……松崎 哲之 二七

徐禎卿の『談藝録』……鷲野 正明 四〇

——清らかで円やかな調への詩を指して——

庚子以前における完顔景賢の

書画碑帖の收藏について……下田 章平 五四

『史記会注考証』における引書の問題について

..... 寺門日出男 六七  
漢文教材の変遷と教科書調査..... 木村 淳 七六

北京自主独立教会とロンドン会統

— 検定制度初期の教科書を中心に —  
— 老舎が北京の教会活動を離れた理由及びその創作活動への影響 —

..... 高橋由利子 17  
注釈に見える「按(案)」という語について..... 高橋 均 1

〔研究ノート〕北魏道武帝早年经历论考

..... 孫 險峰 32  
〔二〇〇九年度中国文化学会大会シンポジウム〕「人文系

中国研究の将来…視点・枠組み、そして技法の継承  
と発展」発表要旨..... 九〇

佐藤進 高橋未来 松村茂樹

第六九号 (二〇一一年六月)

〔皇帝の出遊〕緒論—漢の文帝の場合—

..... 薄井 俊二 一  
五言詩における文学的萌芽..... 柳川 順子 一四

— 建安詩人たちの個人的抒情詩を手掛かりに —

杜詩における「執熱」について..... 後藤 秋正 二七  
晩唐詩人韋莊における杜詩の影響..... 鳴海 雅哉 四〇  
鬼神とアウラ..... 井川 義次 五三

— ノエル『中国哲学三論』における中国の靈魂観・祭祀観 —  
書の時代性説の諸相..... 尾川 明穂 六六

浦城方言の程度表現形式..... 蔣 垂東 16  
〔論語鄭玄注〕は日本に伝来したのか

— 「令集解・穴記」の説を中心として —  
..... 高橋 均 1

研究報告『説文解字』

データベースソフトについて..... 高橋由利子 27  
〔研究ノート〕和語「恋人」の

中国語での受容について..... 清地ゆき子 49  
〔研究ノート〕馬致遠の

套数「題西湖」について..... 舟部 淑子 40

〔二〇一〇年度中国文化学会大会シンポジウム

〕近代における日中文化交流の再検討〕要旨..... 七九

阿川修三 松村茂樹 佐藤一樹